

平成28年度第1回 墨田区障害者施策推進協議会 議事要旨

日 時 平成28年8月30日(火)午前10時～11時30分
場 所 区議会第一委員会室(庁舎17階)

1 開 会

2 議 題

- (1)「第4期墨田区障害者行動計画(後期)」平成27年度実績報告、平成28年度事業計画について
- (2)「墨田区障害者差別解消法関連事業計画」平成27年度実績報告、平成28年度事業計画について

3 閉 会

(資 料)

- ・議題(1)用 事前送付
 - 資料1 「第4期墨田区障害者行動計画(後期)」平成27年度実績報告、平成28年度事業計画(概要版)
 - 資料2 「第4期墨田区障害者行動計画(後期)」平成27年度実績報告、平成28年度事業計画
- ・議題(2)用 事前送付
 - 資料3 「墨田区障害者差別解消法関連事業計画」平成27年度実績報告、平成28年度事業計画(概要版)
 - 資料4 「墨田区障害者差別解消法関連事業計画」平成27年度実績報告、平成28年度事業計画

墨田区施策推進協議会委員

氏名	所属	出欠
三宅 裕	墨田区障害者団体連合会	出席
野口 喬	〃	出席
荘司 康男	〃	欠席
庄司 道子	〃	出席
小宮 隆仁	〃	出席
三浦 八重子	〃	出席
小久保 登美子	墨田区知的障害者相談員	欠席
有田 武雄	墨田区身体障害者相談員	出席
小林 敬子	墨田区民生委員・児童委員協議会	欠席
大屋 善次郎	墨田区社会福祉協議会	出席
笹生 依志夫	障害福祉サービス事業者・墨田区障害者審査会委員	出席
中沢 えみり	墨田区議会議員	出席
坂井 ユカコ	〃	出席
高橋 正利	〃	出席
はら つとむ	〃	出席
井上 ノエミ	〃	出席
渋田 ちしゅう	〃	出席
磯部 淳子	東京都立墨田特別支援学校長	欠席
荒井 亮宏	特別支援学級設置中学校代表（墨田中学校長）	出席
西森 博	墨田公共職業安定所 職業相談部長	欠席
北村 淳子	墨田区保健所所長	欠席

会長

（敬称略）

事務局出席者

青木福祉保健部長

小坂橋障害者福祉課長

三浦厚生課長

岩瀬保健衛生担当参事（保健計画課長事務取扱）

1 開 会

青木福祉保健部長 挨拶 省略

新委員紹介 省略

2 議 題

大屋会長 挨拶 省略

(1) 小坂橋課長 第4期墨田区障害者行動計画(後期)について 資料1説明

質疑応答(議題1について)

(A 委員) 1点目、施設整備助成制度の周知はどういう状況だったのか。周知したのかもしれないが、新規就労者数について、26年度が65人、27年度が60人と減ってしまっている。また、26年度の65人のなかに、離職して再就職された方がいるのかお尋ねしたい。

2点目は障害者施設における新商品開発支援事業の実施について、すみだ北斎美術館の開館に合わせ、共同開発・共同受注につながる新商品を開発するということであるが、開館まですでに3か月を切っている。進捗状況をお伺いしたい。

すみのわサポーターについて、サポーターの状況と、サポーターになった後、その方々とのような関係を築いたかについてお伺いしたい。

(小坂橋課長) 1点目の、施設整備助成制度の周知であるが、各企業を訪問する機会があるので、そのなかで周知を行った。さらに、ハローワークや商工会議所、区の窓口でチラシを配布した。また、区のホームページや、お知らせ(広報誌)での周知を行った。そのような中で、今年度は、企業を訪問した際の周知を重視してやっていきたい。

再就職をされた方の数字は把握していないが、再就職しやすい環境はある。企業への定着が大きな目標だが、定着支援についての様々なサポートを展開している状況である。

2点目の、新商品開発については、すみだ北斎美術館で販売できる商品を2点ほど開発している状況である。その製品のパッケージをこれから作っていきたいと考えている。すみだ北斎美術館もスペースの関係上、製品を選定したいという考えがあるので、今後の動向を見守っていきたい。

すみのわサポーターについてであるが、登録制度のようなものではなく、

適宜ご協力いただく形をとっている。例えばイベントを実施する際、端材を提供していただいたりして、協力企業という形であらわれると考えていただきたい。

(A 委員) すみだ北斎美術館の開館に合わせて、2点開発し、パッケージ待ちの状況であると同った。オープンに合わせて準備しているのかという点について今一度伺いたい。

今回初めて18歳、19歳の方が投票所に行かれたと思うが、中には一人で行くことが難しい方もおられたと思う。その中で、問題点があったか。

先日、銀座線の青山一丁目駅のホームで視覚障害の方の転落事故があった。区内には都営浅草線等の路線があるが、特に押上駅のホームは狭く、いつ同じような事故が起こってもおかしくない。区として、区内の地下鉄の駅をチェックはしたか。また、関係団体からの要望について、どこまで把握しているか、お尋ねしたい。

(小坂橋課長) 新商品開発であるが、すみだ北斎美術館では販売する製品の募集をしているところである。それに合わせ、すみだ北斎美術館と話を進めて対応をしていきたい。

投票環境の整備であるが、スロープの設置、点字器の用意、コミュニケーションボードの配布をしているところである。今回、18、19歳の障害のある方について特に問題点があるとの情報は選挙管理委員会でも把握していない。18歳の方かどうかは別にして、障害のある方についてご家族の方が同行して投票にいらっしゃることがある。特別支援学校ではどう考えておられるのか、また、障害者団体の方でもお考えがあればお伺いしたい。選挙年齢が引き上げられたことによる影響があったか。

(B 委員) 私たちの会では、学校在籍の方がいない。新しく各作業所に入られた方はいるが、知的の場合は、軽度の場合でないと選挙には参加していない。一人でいらっしゃる方もいるとは思う。

(小坂橋課長) 地下鉄の駅ホームでの事故の対応であるが、国の方で検討会を開催するようだ。ホームドアについてもオリンピック・パラリンピックに向けて対応を進めているようだ。区の対応であるが、区内の駅について確認するということはしていない。一方で、関係団体の要望については、委員の皆さんからお聞かせいただくとありがたい。

(C 委員) 東京都盲人福祉協会や日本盲人会連合でも話が出ているところと思うが、盲導犬だけでなく、ガイドヘルパーさんがいないと、駅のホームは危険が伴う。特に申し上げたいのは、点字ブロックの上に物を置かないということをお願いしたい。

(A 委員) 26日の検討会で、何らかの方針が出る。そのときに墨田区としてすぐ声

をあげられるように、区と専門家で、駅について見て確認をお願いしたい。現場の駅員の声も聞いていただきたい。

選挙については、現に18歳の高校生がいるのであるから、現状を把握するため調査をお願いしたい。

(小坂橋課長) 駅については、全駅というのは難しいが、視覚障害のある方の団体とも相談しながら、どんな危険があるのか、調べてみたいと思う。

選挙の関係については、特別支援学校の話になると思うので、選挙についてどうだったかという話を校長先生に尋ねてみたいと思う。

(D 委員) 駅の話だが、国で検討会があっても、各自治体の詳しいところまでは調査しないと思う。すべての駅をきちんと調べるべきである。また、可動柵の設置については、区から鉄道会社へ要望する等のアクションを起こしていただきたい。

点字ブロックについて、ブロックの上に立て看板を置く店は減ってきた。減らないのは、ブロックの上に自転車や自動車を止めてしまうことである。意識啓発が今後大事になってくると思うので、ぜひお願いしたい。

石原にある銭湯で障害のある方向けの家族風呂について、作ったものの条例上夫婦では使えないという状況がある。区独自の制度を作り、認められるようにならないか。進展があればお伺いしたい。

(小坂橋課長) 可動柵については様々な問題があるようだ。例えば、車両を統一しないと可動柵は設置できないが、そういった問題もあり設置が進んでいないという現状がある。情報が入れば考えていきたいと思う。

点字ブロックの件であるが、障害者交通安全等意見交換会を年1回開催しているので、その中でお話をさせていただきたいと思う。

銭湯の件であるが、今年度要綱を整備し、福祉浴場を認定できるようにした。その要綱に基づき、御谷湯から申請書が提出されたところである。これから中身をチェックし、福祉浴場として認定するという方向で考えている。

(E 委員) 墨田福祉作業所について、今月、保護者の方からご相談があった。経緯説明が雑すぎるというもので、決まったことだけを次々に報告されるだけだったという話である。丁寧な説明を試みたのか、お尋ねしたい。

(小坂橋課長) 墨田福祉作業所の件では、保護者会で2回ほど説明させていただいた。保護者会の会長、また役員の方にもご説明する機会を設けさせていただいた。

ご理解をいただけるように説明しているところであり、また、個別に対応し、納得していただいている方もいらっしゃる。

(E 委員) 今後、きちんと理解と納得を進める上では、利用者や保護者の声をしっかり聞き、それに対して答えていくという姿勢がなければいけない。利用者の方々が困らないような説明をお願いしたいと思う。

- (小坂橋課長) 保護者の方からご意見があれば、検討させていただくということで、実際に検討している部分もある。例えば、交通の問題であるが、バスを走らせられないか等、検討している。また、呼びかけをして、私どもに質問していただく場を設けていければと思っている。
- (E 委員) 利用者の方が納得するような進め方を願います。
- (F 委員) スポーツはできないが観戦は好きという障害のある方は多い。スタジアム等で障害のある方が観戦できる環境にあるかどうかを、区の方では把握しているか。
- (小坂橋課長) 両国国技館については、車いすで観戦できる場所があると聞いている。
- (F 委員) 東京ドームにも車いす用の席はあるが、介助者と前後に配置されている。アメリカでは介助者の横に座ることができる。車いすの方も、横並びの同じ目線で楽しめる環境の整備をお願いしたい。また、皆さんはスポーツを観戦されるとき、どうされているのかについても併せてお伺いしたい。
- (小坂橋課長) このようなお話があったことは、オリンピック・パラリンピック担当のほうにお伝えしていきたい。両国国技館についてはどこまで配慮しているかは存じ上げないが、一定の対応はしている。

(2) 小坂橋課長 墨田区障害者差別解消法関連事業計画について 資料3 説明

質疑応答(議題2について)

- (G 委員) 子供たちの発達障害の問題で、保護者の理解がなかなか進まないということがある。保護者の同意が得られないと、補助金を得られず運営に支障を来す。解決策があればお聞きしたい。
- (小坂橋課長) 保護者の方の心理的負担を下げるという意味で、自己負担金を区が持つということを行い、早期発見・早期療育へ取り組んでいる。一方で、放課後等デイサービスは需要が伸びている。垣根がだんだんなくなってきているということだと思う。子供の年齢が上がると受容されていく場合もあるようだ。
- (G 委員) 差別解消法は共生社会を作っていくためにできたものだと考えているので、ソフト面での整備が重要になってくると思う。意識啓発をしていくことが大事である。
- スペシャルオリンピックスというものがある。知的障害の方のオリンピックであり、墨田区がこういうオリンピックもあるのだということ発信していければと思う。
- (小坂橋課長) オリンピック・パラリンピック担当との話し合いの中でいろいろ出てくると思う。聴覚障害のある方のデフリンピックというものもある。なかなか区の

ほうで発信していくことは難しいと思うが、何か新しい情報があれば、啓発していくことは考えられる。

(G 委 員) 墨田区を意識の高い区にしていきたいと考えている。

(A 委 員) 民間建築物のユニバーサルデザイン化について、指導の具体例をお伺いしたい。

両国駅のリニューアルについて、地元の自治体としてかかわっていくべきだと思うが、いかがか。

(小 板 橋 課 長) 具体例については把握していない。指導の中で、やるべきことはやっていただいている、と認識している。

両国駅については、関連部署に話を聞いてみたい。関連部署を通してバリアフリー化について配慮するよう話ができればと思う。いずれにせよ、調べさせていただきたい。

(H 委 員) 点字ブロックが黄色く塗られていないところ、あるいは色が薄くなっているところがあり、弱視の方にとってわかりづらい。黄色く塗ってほしい。

向島生活館は区の施設か。また、それ以外に類似の施設はあるか。

(小 板 橋 課 長) 向島生活館については区の施設ではなく、具体的には、わからない。点字ブロックについては、意図的に黄色く塗られていない所もあるかと思うので、情報収集したい。色が剥げているところについては対応が必要であるので、関連部署にも話をしていく。

(C 委 員) 視覚障害で手帳を取得されている方は600人ほどいるが、そのうち部会に入っているのは40人しかいない。

選挙のとき点字介助をしてもらっているが、投票しているのは20人くらいしかおらず、投票率が低い。点字でも投票できるということを区にアピールしてもらいたい。

(小 板 橋 課 長) 視覚障害のある方すべてが点字を使うわけではないと思うが、そのあたりはいかがか。

(C 委 員) 点字そのものは、盲学校を出ると使わなくなることが多い。一般社会では必要でないから、使えないという面もあると思う。

(小 板 橋 課 長) 点字はコミュニケーション手段として非常に重要であると考えているので、考慮していきたい。

(B 委 員) 障害者差別解消法は施行されたが、それと逆行するような事件も起きている。一般の方々に対する意識啓発を行政の方で進めていただきたい。

(小 板 橋 課 長) こういった事件を起こさないため、施設の安全管理について調査を行っているところである。また、障害のある方が理解されるよう、様々な事業展開の中で、意識啓発を進めていきたい。

(I 委 員) 新たに通所訓練所が京成高架下にできるということで、感謝している。

もう一つ、グループホーム設置の要望も出しているが、こちらについても
よろしく願いしたい。

(J 委 員) 成年後見制度についてだが、家族会で、後見人を任命すると費用が掛かる
ので、いらぬという人がいる。制度を利用すると費用が掛かるのか。

(三浦課長) いろいろなパターンがあるので、個別にお問い合わせいただければと思
う。

(K 委 員) 障害者団体連合会の事務局長をしているが、会の抱える問題も多々ある。
荘司会長の元に各部会長の意見を事務局がとりまとめ、区や他の行政機関と
連携を取りながらやっていきたいと考えている。まだ軌道に乗っていないが、
よりよくしていきたい。

(L 委 員) 障害のある方がプールに入る際、何が障害となるのか。

(小坂橋課長) 障害の種類、程度によって入れる、入れないということはあると思う。また、
教育委員会の関連で、障害のある方向けの水泳教室も開催されている。

(M 委 員) 事件をうけて、対策をとるのは大切なことだと思うが、塀を高くするなど、
行き過ぎた対策をしてしまうと、時代と逆行してしまう。地域の皆さんと一
緒に暮らすという視点を持って、障害者理解の啓発を第一に考えていただき
たい。

(N 委 員) 特別支援教室の設置が進んできている。様々な形でかかわっていけたらと
考えている。

(小坂橋課長) 本日はありがとうございました。障害者理解を進めていくことは非常に重要
であると考えているので、力を注いでいきたいと考えている。

本会議は、今年度は今回の1回と考えているが、何か大きな議題があれば
改めて招集させていただくこともある。

本日はお忙しい中お集まりいただき、ありがとうございました。